

薩摩川内市

きちがわ

吉川地区コミュニティ協議会

～自然と、人と人がふれあい奏でる地域力～

団体の紹介・活動の目的

吉川地区コミュニティ協議会は、平成17年4月に薩摩川内市の吉川小学校区を単位として設立したコミュニティ組織です。薩摩川内市の北部に位置し、北部は紫尾山系に接しており山林が多数を占めているなど、自然があふれ、緑豊かな地区です。

当協議会は、地区内を横断的に組織した、5つの部会(自治環境部会・青少年育成部会・福祉部会・保健体育部会・地域振興部会)があります。この5つの部会を中心として取り組んでいる話し合い活動を基に、豊かな自然、互助の生活風土といった、様々な地域資源を活用しながら、過疎化・少子高齢化対策などの地区の課題解決や、活性化を図ることを目的として、各種活動に取り組んでいます。

活動の内容

当協議会は、地区内を流れる高城川や地区のシンボルであるそばどんの滝など様々な地域資源があり、それらを活用した川遊び、ハイキングなどは、異世代間や地区外の方との交流を図ることができる行事となっています。

また、各部会では、環境美化活動、地区文化祭、世代間交流事業、いきいきサロンなどを行っており、地区内の環境整備や地区の一体化にも、積極的に取り組んでいます。

このような各種活動が住民に深く理解されてきており、自主的な取組が広がっています。

※地域資源利活用事業…薩摩川内市では、平成25年度から新たな事業として地域資源利活用事業を展開することになり、吉川地区が最初のモデル地区に選定されました。地域資源利活用事業とは地域における資源(自然・景観・人材など)を生かした交流体験事業を実施し、交流促進、地区の活性化、さらにはコミュニティビジネスの創出等を目的とする事業です。
吉川地区においては、これまでの事業の実績を生かした取組を継続していく予定です。



1 地域資源利活用事業(ウォーキング)…吉川地区内にある地域資源を生かしたウォーキングを行いました。「滝めぐりコース」「里めぐりコース」の2コースに分かれて行い、参加者は吉川地区を満喫していました。



2 地域資源利活用事業(食)…地区内の食材を活用した食事は、味はもちろんのこと、地区の方が作った竹容器を使用するなど、「見ても食べてもおいしい食事」が提供され、参加者は満足していました。



3 川遊び…地区内を流れる高城川で、いかだやカヌーを体験することができ、子どもに人気のある毎年恒例の行事となっています。



4 地区文化祭…平成26年度は、吉川小学校閉校記念事業の一つとして開催されました。劇などの舞台発表はもちろん、作品展示、バザーも催され、毎年多くの住民が参加します。